

地域県土警察常任委員会資料

(令和6年6月13日)

- 山岳遭難防止対策の推進について 2
(生活安全部地域課)
- 一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について 3
(警務部会計課)

警 察 本 部

山岳遭難防止対策の推進について

令和6年6月13日
警察本部
(生活安全部地域課)

1 県内の遭難発生状況

(1) 過去5年間の遭難発生状況

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	合計
遭難件数(件)	26	26	37	31	41	161
遭難者数(人)	28	28	45	37	48	186
死者(内数)	1	0	1	5	3	10
登山届数(件)	30,012	18,688	22,516	35,245	41,628	148,089

(2) 遭難の特徴(令和5年中)

- 山域別 全国的に有名な大山で28件(約68%)の遭難が発生
- 原因別 道迷いが10件、熱中症が9件、バランス崩しが7件など
- 年齢別 50代が最多の16人(約33%)、次いで60代が12人(25%)
- 居住地別 遭難者48人中、31人が県外居住者

(3) 救助活動

令和5年中の山岳遭難41件のうち24件にヘリコプターが出動した。

2 遭難防止対策

(1) 広報活動(登山届の提出促進など)

書面による届出に加え、「とっとり電子申請サービス」や登山地図アプリによる届出を推奨している。

(2) 山岳パトロールの実施

鳥取県山岳・スポーツクライミング協会と連携し、定期的に山岳パトロール(春山及び冬山)を実施している。

(3) 登山者に対する啓発

- 登山中の道迷い及び熱中症予防について注意喚起するポスターを掲示している。
- 「とっとり電子申請サービス」の二次元コード付きのウェットティッシュを配布している。



登山届提出を
促すポスター

(4) 遭難救助訓練の実施

- 鳥取県山岳・スポーツクライミング協会から講師を招いて救助訓練を実施している。
- 独立行政法人日本スポーツ振興センターによる積雪期登山基礎講習会に鳥取県警察大山遭難広域救助隊員を派遣した。



夏山遭難救助訓練

一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について

【新規分】

警 察 本 部

主 務 課	工 事 名	工事場所	契 約 の 相 手 方	契 約 金 額	工 期	契 約 年 月 日	入 札 方 式
警察会計課	鳥取警察署空調設備更新工事(機械設備)	鳥取市千代水三丁目	サンユー技研・西日本環境特定建設工事共同企業体 代表者 サンユー技研工業株式会社 代表取締役 三澤 潔 構成員 西日本環境設備株式会社 代表取締役 荒川 恵	211,200,000円 (予定価格) 211,970,000円	令和6年5月30日 ～ 令和8年1月15日	令和6年5月29日	簡易評価型総合評価 (1者)